

# 南砺市で農業をやってみませんか？

## 南砺市ってどんなところ？

南砺市は、富山県の南西端に位置し、北部は砺波市と小矢部市、東部は富山市、西部は医王山を介して石川県金沢市、南部は1,000～1,700m級の山岳を経て岐阜県白川村に隣接しています。東西約26km、南北約39kmで、668.86km<sup>2</sup>の面積を有し、そのうち約8割が白山国立公園等を含む森林であるほか、岐阜県境に連なる山々に源を発して庄川や小矢部川の急流河川が北流するなど、豊かな自然に恵まれています。

また、平野部では、水田地帯の中に美しい散居村の風景が広がり、独特の集落景観を形成しています。

交通は、金沢市へは車で40分、富山市は45分、名古屋市までは東海北陸道を使って2時間30分という立地になります。



【平野部の風景】



【五箇山の集落】

## 南砺市の農業では何が作られている？

南砺市は、小矢部川と庄川の清流を活用した良質米の産地となっています。酒米の生産も多く、全国の蔵元へ出荷されています。

福野・井波地域では、里芋やチューリップ球根の生産が多く、最近ではたまねぎの生産が増えてきています。城端・福光地域は干柿の産地として全国的に有名であり、近年はあんぼ柿の生産が増えております。山間地である平・上平・利賀村地域は、ミョウガや赤かぶ、かぼちゃが特産となっています。



【玉葱の収穫】

地域	農産物特産品	地域	農産物特産品
井波	玉葱、里芋、チューリップ球根	平	ミョウガ、赤かぶ、かぼちゃ(ぼべら)
福野	玉葱、里芋、チューリップ球根	上平	ミョウガ、赤かぶ、かぼちゃ(ぼべら)
城端	干柿、ニンニク、そば	利賀村	かぼちゃ、そば、ミョウガ、行者にんにく
井口	黒大豆	福光	干柿、アスパラガス

## 農業で生活するためにはどうすればいい？

### ①農業生産法人へ就職

市内には、多くの農業生産法人があり、若い方が雇用され活躍しています。

### ②親元就農

親または親類の農業経営の後継者として就農します。経営移譲し、新しい部門に挑戦すれば、支援を受けられます。

### ③自営独立就農

農地を賃借又は購入し、自分で農業経営を行います。平野部で大規模な水稻の栽培は難しいですが、野菜や果樹などの園芸作物の生産は、市内の立野原台地の農地などを借りることで可能となります。

※就農に関する詳しい支援制度は、「南砺で就農チャレンジ」をご覧ください。

## 干柿やあんぽ柿の生産にチャレンジしてみませんか？

南砺市の特産の干柿は、三社柿という渋柿を主に使用しております。この柿は、大きくて、とても渋いのですが、干柿にすると渋味が抜け、とても上品な甘さに仕上がることから、皇室に献上されており、また銀座の有名フルーツショップで取り扱われているなど、大変評判のいいものです。高い技術の習得や加工時期がとても忙しいなど、生産には厳しい面もありますが、安定した収入を得ることが出来ます。

### ○干柿（あんぽ柿）の主な生産過程

2月～3月	整枝剪定	3月～10月	病害虫防除（13回程度）
5月	芽かき作業	7月～8月	摘果作業
5月～9月	除草作業（5～7回程度）	10月～12月	収穫作業、加工作業、出荷



## 新規就農者の声

私はサラリーマンより、自分のペースで作業ができる農業の方が合っていると思い就農しました。将来はぶどうの栽培面積を増やし、市内の観光ツアーに加えてもらえるような大きな園地にし“ぶどうづくり”を直に見てもらおうのが夢です。

就農する際は、研修制度を活用して技術を身につけるのが最善の方法だと思います。

私は以前大工の手伝いをしていた経験を活かしぶどう棚を自分で設置したこともあるので、農業以外の経験も大切なことだと感じています。

まだまだ技術的には未熟ですが、いつかは自分を育ててくれた先輩と同じように農業経営を希望する若い人を育てていきたいと思っています。



高桑健さん（南砺市大鋸屋在住）  
就農：平成27年  
経営規模：1ha（ぶどう、干柿）

百生真さん（南砺市焼野在住）  
就農：平成24年  
経営規模：3.7ha（水稻、里芋など）



私は、祖父母が農業をしていたことがきっかけで、自分もやってみたいと思い就農しました。

休みがなく、天気にも左右されがちですが、自分が作った農産物を「おいしい！」と食べてもらえることに大きなやりがいを感じています。

日頃から、作ってみたいと思ったらどんな作物でもチャレンジするようにしています。一度試作し、思うようにいかなければ、また別の作物に挑戦する手法で、最近は新たに玉ねぎの生産をスタートさせました。

今の課題は、出荷に時間と人手を要することです。祖父母も高齢になってきているため、今後は、機械化することにより省力化に努めていきたいと思っています。

## 南砺市では、新規就農を推進しています！

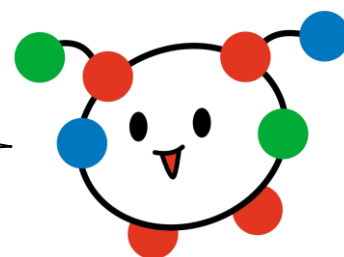
### ◆就農するための技術や経営のノウハウを習得する制度

研修支援制度	対象者	研修期間	研修先	給付金額	条件
農業次世代人材投資資金 (旧青年就農給付金) 【準備型】(国)	就農時 45歳未満	最長2年間	先進農業経営体 とやま農業未来 カレッジ	150万円/年	独立自営就農、雇用就農または親元就農(就農後、5年以内に継承)すること
南砺市新規就農支援制度 (市)	就農時 45歳以上 65歳未満	1年間	市内先進農業経営体(市内の認定農業者、農業生産法人等)	180万円/年	独立自営就農、雇用就農または親元就農(就農後、5年以内に継承)すること
南砺市干柿新規就農支援制度(市)	就農時 45歳以上 65歳未満	2年以内			独立自営就農による干柿生産農業者になること又は干柿を生産している法人に就農すること

### ◆就農後、経営を安定化させるまでの支援制度

支援制度	対象者	研修期間	給付金額	条件
農業次世代人材投資資金 (旧青年就農給付金) 【経営開始型】(国)	就農時 45歳未満	最長5年間	150万円/年	独立自営就農した場合または親元就農で5年以内に全てを継承し、給付期間中に新たな作物を経営に追加すること。

このほか、様々な支援制度があります。  
農業経営に興味をお持ちの方は、ぜひ  
ご相談ください！



#### ご相談・お問い合わせ先

○就農に関することは

南砺市ブランド戦略部農林課

TEL 0763-23-2016 FAX 0763-62-2112

○農地のことは

南砺市農業委員会

TEL 0763-23-2020 FAX 0763-62-2112

○住居や空き家に関することは

南砺市市民協働部南砺で暮らしません課

TEL 0763-23-2037 FAX 0763-82-0170